

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

●本日	会員誕生日	結婚記念日
「3. 11から1097日の今日思うこと」	3月14日 遠藤 光一	3月13日 平井 誠治
田中 公一 会員	3月18日 原田 功	3月14日 燕 美雪
●次週予定	特別慶祝(古稀)	3月15日 西谷 恭治
移動夜間例会	「ロータリー財団の理解を深めよう」	3月18日 原田 功

No. 2597

第34回 3月12日

出席報告

前例会

会員総数.....41名
出免会員..... 8名
出免出席..... 6名
基準会員出席.....21名
出席率..... 77.14%

前々々会

第31回 2月19日
欠席会員.....11名
内メイクアップ..... 5名
修正出席率..... 89.18%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 遠藤光一会員のお母様が亡くなりました。大嶋幹事と共に葬儀に出席して参りました。
2. 3月3日に、第9回定例理事会並びに第5回クラブ協議会を開催しました。理事会にて3月・4月の例会プログラムの承認、創立記念例会の決算、中間決算報告の承認致しました。
また、国際奉仕委員会担当夜間例会の内容確認を致しました。
3. 国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所より2014~2015年度ロータリー財団国際親善奨学金の募集の案内が届いております。国際奉仕委員会に引き継ぎます。



幹事報告

- ・深川RCより会報No.2654~2656号及び3月の例会案内を受領しました。
- ・芦別RCより会報No.2723~2726号受領しました。
- ・ロータリー米山奨学金の寄付明細書とクラブ別寄付金の明細書が届いておりますので回覧致します。
- ・ライラセミナー開催のリーフレットが届いております。回覧いたします。



3分間情報

会員研修委員会

阿部委員長

「識字率向上月間」

3月は識字率向上月間です。

日本ではなかなか実感することは出来ませんが、識字率向上はロータリークラブにおいても、ポリオ撲滅以降の最優先事項と言われている、世界にある大きな問題の一つです。

おおざっぱに言うと、子供の初等教育環境づくりという側面と、大人の識字率向上という側面があります。

子供の初等教育に関しては、「2015年までにすべての子供が男女の区別なく初等教育の全過程を終了出来るようにする」というのが、193の国連加盟国と23の国際機関による、共通の目標となっております。これは2000年にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言を基に明確になっております。

「国連識字率の10年」が始まった2003年と昨年2013年を比べてみますと、学校に通えない子供の数は、1億300万人から5700万人と約半減しております。2015年、つまり来年までに全ての子供たちに環境を与えるという目標は少々難しいように見えますが、確実に進んでいる事が分かります。

読み書きの出来ない大人は、8億6000万人が7億3000万人、10年経っている事を考えますと、進みが遅いように見えます。女性の地位が低く教育を受けさせない国や、貧困状態から抜け出せないため、教育の機会を得られない家庭が依然として多いようです。母親が初等教育を受ければ、5歳未満の子供の死亡率が1/2になるというデータもあり、切実な問題です。飛躍的な前進が見えない大人の識字率向上について、ユネスコが行っている世界寺子屋運動という取り組みが少しずつ効果を上げているようです。

江戸時代、日本が世界と比べて驚異的な識字率を誇っていた時の、「寺子屋」を教育の進んでいない国・地域で実現しようという取り組みです。

手順は、困っている地域へ行き、その地域全ての家庭に家庭訪問をして現状を知る。そして地域の酋長や長老と打ち合わせを繰り返し、形を決める。そして環境を整えます。教える人は現地の人、公式な教育機関を作るのではなく、環境だけ整えるやり方で、まさに「寺子屋」で

す。インフォーマルにこだわっているのが、教える内容を国に統制されることはありません。ルールはその地域に合わせて作るのも、年齢性別も関係ありません。生きるのに必要と感じた事を地域で決めて教えます。

この運動では、書き損じハガキを募集しています。投函していないハガキが募金になり、11枚でカンボジアの子供がひと月学校に通えるそうです。実際、学校単位でハガキを集めたり、ロータリークラブでもクラブ単位で協力している所があるようです。書き損じハガキに手数料を払って新品のハガキと交換する方法もありますが、この様な使い方があることを覚えておいていただきたいと思います。

以上、識字率向上月間に考えた事でした。



ニコニコBOX

- 手続き要覧が届きましたので配付致します。 大嶋幹事
- 手続き要覧頂きました。 中川、森(幹)会員
- 例会に遅刻しました。齋藤会員にもご苦勞をかけ、申し訳ございません。高橋副委員長の全快をお祈りいたします。 二ノ宮会員
- 先週の例会遅刻して申し訳ございません。又3月3日の理事会も欠席しました。申し訳ございませんでした。 山本会員
- 本日タイ検証ツアーの卓話をさせていただきます。田中先生DVDの編集ありがとうございました。 西谷(英)会員
- 3日の理事会欠席してすみません。 堀会員

前 回	621,600円
今 回	10,000円
累 計	<u>631,600円</u>



プログラム・・・・・・・・

「タイ検証ツアー報告」

国際ロータリー第2510地区

国際奉仕委員会委員 西谷 英樹 会員

2013-2014地区国際奉仕委員会タイ検証ツアー報告ということで、本日卓話をさせていただきます。

今回の日程は1月9日から1月14日までの4泊6日でした。私自身は、東北の震災があって中止した年を除いて3回目の参加になりました。

皆さんもご存じのように前身はWCSという小委員会でしたが、当時ガバナーでした函館の酒井ガバナーがWCS地区委員長の出村さんにWCSの活動がいまいちわかりづらいと指摘を受けて、じゃあ一緒に行きましょうと言ってガバナーがそれ以来参加するようになったと聞いています。

結果、こんな良いことをしているのにロータリアンは理解している人が少ないから広報活動にも力を入れるよう、再度指摘を受けました。近年は松原委員長をはじめ、出村財団委員、わたくし地区国際委員広報担当が各クラブで卓話をして理解を広げています。

今回、我孫子ガバナーにはご夫人と参加して頂きましたが、この検証ツアー費をタイに送金した方がいいのではと考えたみたいですが、実際参加されてやっぱり、現場の生の声を聞いたり見たりすることの意味を強く感じられたようでした。

ご夫人も旦那がロータリアンであることに誇りをもてましたと話して下さいましたので、私たち地区委員は何か月もかけてプロジェクトの打ち合わせして来てよかったと思う瞬間でした。毎年、このタイ検証ツアーに初めて参加する人はタイの子供たちの歓迎に感動し、又、支援をして参加するリピーターが増えていきますので、留萌クラブも一人でも多くの参加をもらいロータリーの奥深い部分を学んでほしいと思います。

今回のツアーはバンコクのデモのため、スケジュールの急きょ変更があったり大変なツアー



でした。

検証先はアユタヤ地区の病院への医療機器事業、アムナットチャロエン地区の浄水器事業と図書館事業、ノンカイ地区の浄水器事業と子供の日にちなんでノートやお菓子やサッカーボールを配りました。まだ他の事業がありますが、空港の閉鎖や道路封鎖で検証出来ませんでした。

では、田中先生の編集したDVDを鑑賞して下さい。【20分】

.....

次年度は財団の寄付が一人150ドルになることが決定していますので、皆さんのご協力とご支援をお願いしタイ検証ツアーの報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

第33回 3月5日(水) 天候/晴

